

すこやかTimes

医療法人アエバ会 すこやか生野

買い物や趣味を楽しめる生活に！

脊柱管狭窄症の手術後、下肢の痺れと腰痛で長距離歩行が十分に行えませんでした。当事業所でパワーリハやPウォークなど歩行中心のリハビリプログラムを半年間実施して、現在は自宅周辺の散歩が商店街や大通りまで行けるようになりました。万歩計では700歩程だったのが2000～3000歩となっています。また、提案させていただいた自主トレーニングプログラムも今では休みなく行えるようになりました。



T様 パワーリハ歴 6か月

T様は、植木の手入れが趣味で剪定や植え替えをされていますが、以前より長時間出来るようになったことや買い物の時間も増えた事を喜ばれておられます。今後も趣味を継続して楽しんで生活してもらえるように、スタッフ一同取り組んでいきます。

医療法人 アエバ会

すこやか生野

- 入所・短期入所
TEL：06-6717-8002（代表）
- 通所リハビリテーション
TEL：06-6717-8003（直通）
- 居宅介護支援事業所
TEL：06-6717-8033（直通）

アエバ会

検索

<http://www.aeba.or.jp/>



携帯から
簡単アクセス

無料見学体験会 随時実施中！

お気軽にお問い合わせください。



理学療法士が目 良い歩き方って、どうするの？

良い歩き方とは、ひと言でいうと負担の少ない歩き方のことです。しかしながら、病気や加齢によって、身体の制限が増加して、負担の掛かる歩き方を強いられてしまうことが多くあります。さらには歩くことの困難さが運動不足の原因になるといわれています。

そこで当事業所では、P-WALK という安全装置・免荷装置・速度調節機能が備わった歩行練習器具を用いた運動プログラムを導入しています。

今回は、その P-WALK で“良い歩き方”をするためのポイントを理学療法士が運動学的な視点から解説します！



まず前方に振り出した足は、つま先を上げて、踵から着地することで、地面と衝突する力を前方への推進力に変えます。



次に、足全体が地面に着地した後は、下肢全体を伸ばしながら上半身を上方に持ち上げます。このとき上半身を高い位置に保つことが重要です。



最後は蹴り出しです。股関節を十分に伸展し、つま先立ちの状態を保ったまま前方へ倒れることで、前方への推進力が生まれます。

P-WALK は、身体能力に合わせて身体を支え、最適な速度に設定することで、“良い歩き方”を再現しています。そして無理なく運動不足が解消できるトレーニングとなっています。

すこやか生野では、動作の専門家である理学療法士が在籍しており、医学的・社会的視点から身体能力や生活環境等を評価し、それぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成します。

アエバ会グループ 検査科のご案内

アエバ外科病院検査科は、現在 2 名にて検体検査、生理検査等多岐にわたり検査を実施しています。

これからの時期、インフルエンザ感染等起こりやすくなります。手洗い、うがい等にて自己防衛を行いましょう。

電話 (代表) 06-6715-0771

図解！臨床検査技師とは？



血液や唾液の検査



目に見えない身体の中の検査